

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年10月10日(2019.10.10)

【公開番号】特開2019-141214(P2019-141214A)

【公開日】令和1年8月29日(2019.8.29)

【年通号数】公開・登録公報2019-035

【出願番号】特願2018-26759(P2018-26759)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和1年8月20日(2019.8.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技が可能な遊技機であって、

基板の一面に設けられた第1発光手段及び第2発光手段と、

前記第1発光手段から端面に入射された光を誘導する第1導光板と、

前記第1発光手段に対し前記基板に沿う方向に離れた位置に設けられ、前記第1導光板により誘導された光により発光する第1発光部と、

前記第2発光手段から端面に入射された光を誘導する第2導光板と、

前記第2発光手段に対し前記基板に沿う方向に離れた位置に設けられ、前記第2導光板により誘導された光により発光する第2発光部と、

前記基板の一面側から少なくとも前記第1発光手段及び前記第2発光手段を視認不能または視認困難に被覆する被覆部と、

を備え、

前記第1導光板は、前記基板の一面側に重なるように配置され、前記第1発光手段からの光を前記基板に沿う方向に向けて誘導し、

前記第2導光板は、前記第1導光板に重なるように配置され、前記第2発光手段からの光を前記基板に沿う方向に向けて誘導する、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

前記課題を解決するために、本発明の手段Aの遊技機は、

遊技が可能な遊技機であって、

基板の一面に設けられた第1発光手段及び第2発光手段と、

前記第1発光手段から端面に入射された光を誘導する第1導光板と、

前記第1発光手段に対し前記基板に沿う方向に離れた位置に設けられ、前記第1導光板により誘導された光により発光する第1発光部と、

前記第2発光手段から端面に入射された光を誘導する第2導光板と、  
前記第2発光手段に対し前記基板に沿う方向に離れた位置に設けられ、前記第2導光板

により誘導された光により発光する第2発光部と、  
前記基板の一面側から少なくとも前記第1発光手段及び前記第2発光手段を視認不能ま

たは視認困難に被覆する被覆部と、

を備え、

前記第1導光板は、前記基板の一面側に重なるように配置され、前記第1発光手段から

の光を前記基板に沿う方向に向けて誘導し、

前記第2導光板は、前記第1導光板に重なるように配置され、前記第2発光手段からの

光を前記基板に沿う方向に向けて誘導する、

ことを特徴としている。

また、手段1の遊技機として、

遊技が可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機1）であって、

基板（例えば、第2LED基板512L, 512R）の一面（例えば、前面512F）に設けられた第1発光手段及び第2発光手段（例えば、第2演出用LED521及び第2演出用LED522）と、

前記第1発光手段から端面（例えば、入光部561A）に入射された光を誘導する第1導光板（例えば、第1インナーレンズ561）と、

前記第1発光手段に対し前記基板に沿う方向に離れた位置に設けられ、前記第1導光板により誘導された光により発光する第1発光部（例えば、発光部561D）と、

前記第2発光手段から端面（例えば、入光部562A）に入射された光を誘導する第2導光板（例えば、第2インナーレンズ562）と、

前記第2発光手段に対し前記基板に沿う方向に離れた位置に設けられ、前記第2導光板により誘導された光により発光する第2発光部（例えば、発光部562F）と、

を備え、

前記第1導光板は、前記基板の一面側に重なるように配置され、前記第1発光手段からの光を前記基板に沿う方向に向けて誘導し（例えば、第1インナーレンズ561は、第2LED基板512Rの前面512F側に重なるように配置され、第2演出用LED521からの光を第2LED基板512Rに沿う方向に向けて誘導する。図23参照）、

前記第2導光板は、前記第1導光板に重なるように配置され、前記第2発光手段からの光を前記基板に沿う方向に向けて誘導する（例えば、第2インナーレンズ562は、第1インナーレンズ561の前面側に重なるように配置され、第2演出用LED522からの光を第2LED基板512Rに沿う方向に向けて誘導する。図23参照）

ことを特徴としてもよい。

この特徴によれば、第1発光部と第1発光手段及び第2発光部と第2発光手段とを基板に沿う方向にずらして配置できるので、第1発光部と第2発光部とを点光りさせることなく好適に発光させることができる。